

小麦、野菜中のカドミウム国際基準案



イタリア・ローマで開催されていた第28回コーデックス委員会総会(7月4日~9日)で、食品中のカドミウムの国際基準値案の取り扱いが検討されました。

検討結果は、以下の通りとなりました。

- (1)小麦、野菜などについては現行案(1キログラムあたり 0.05~0.2 ミリグラム)を国際基準値として最終採択する。
- (2)日本の提案により、基準値原案が1キログラムあたり0.2ミリグラムから0.4ミリグラムに緩和された精米は、原案を国際基準値案として予備採択した上で、食品添加物・汚染物質部で引き続き検討する。
- (3)「カキとホタテガイを除く海産二枚貝」、「内臓を除去した頭足類」についても、1キログラムあたり 1.0 ミリグラムという原案を国際基準値案として予備採択し、食品添加物・汚染物質部で引き続き検討する。

今後の予定は、精米、海産二枚貝及び頭足類の国際基準値案は、来年4月開催の食品添加物・汚染物質部会で更に審議される予定となっています。

資料:2005年7月11日付 EIC ネット
2005年7月11日付 環境省プレスリリース

機器分析箇所 市川雅俊

事業内容

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析 | 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査 |
| 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明 | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定 |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 トータルサニテーション管理 |
| 4 水道法第20条に基づく水質検査 | 8 委託試験・研究・開発 |

